

PTA 母親文庫の思い出

島崎 昌美

古い話である。県立図書館から指定を受けた小学校がモデル校となり、親と子の読書意欲を高めるために3年間、実践活動を行なう“PTA 母親文庫”というのがあった。

1979年、3番目の娘が小学校へ入学したところで指定校になった。推進委員の1人として様々な活動に参加していたが、その過程で、一部の母親たちが“読書会”を立ち上げた。子どもに本を読めと言う前に、親が読書する姿を見せていこうという趣旨であったようだ。妻が発起人の1人であった事と、私が出版社で仕事をしていた事情から、特別会員として入会を求められ、本の手配を主とした雑用係を拝命した。

わが家を会場にして会員15名でスタートした読書会も、残念ながら1年で10名に減った。しかしその後は定着し、12月と1月を除く年10回の集まりで15年続いた。

読書会といっても楽しくなければ続かない。そこで、順番で「親」となった者が、自分で読みたい本を自由に選び、それをその月のテキストとして全会員に配本する。会の進行は「親」の役目で、選本の理由や読後感を述べ、それに応じて、各自の意見がとび交うというやり方である。

そんなわけで、雑学雑読の会ではあったが、振り返って改めて良かったと思うのは、毎回きちんと読んだ者は、150冊となる。実際のところ、Aさんは自然観を深め、Bさんは一層の文学好きとなり、更にCさんは人生の価値観が変わったと言う。発足から30余年を経て、すでに半数以上が鬼籍の人となったのは淋しい限りだが、残る半数の人たちは、会えば今でも絵画や音楽の話題まで共有できる素敵な経験を積んだのである。

各々の家庭で、親の読書する姿が、子にどう影響したかを検証する方向からは大きく外れてしまったが、会社勤めやパートに出て、経済的な事情にのみ15年を費やしたかもしれない母親たちが、その後の人生を豊かに生きる知的財産を心に残したことを思えば、やっかいなことになったと思った“PTA 母親文庫”の活動も、感謝しきれぬ幸運であったと言っても、決して過言ではなからう。本を読むことのすばらしさを改めて痛感する昨今である。

いつどこで、どんな本と出会うかによって人生が一変することがある。そんな出会いを“邂逅”という・・・青年期に読んだ誰かの言葉が、胸にいつまでも新鮮である。

(しまざき・まさみ / 絵手紙作家・つくば市在住)



お知らせ

★図書利用カードが新しくなりました★



新しいカードに切り替える時には、今ご利用の古いカードと身分証明書をお持ちの上、明野図書館のカウンターまでお越しください。また、中央図書館・関本公民館図書室・協和公民館図書室でも作成できます。

★ホームページの URL も新しくなりました★

筑西市立図書館 HP <http://library.city.chikusei.lg.jp/>

中央図書館・関本公民館図書室・協和公民館図書室のイベント情報などもこちらから見るができます。また、【蔵書検索・予約】ボタンから筑西市立図書館の全ての資料も検索できます。(館を選んで検索することもできます。)携帯用サイトもありますのでご利用ください。

上記図書館(室)の資料も明野図書館で借りたり、返したりできるようになりました。(視聴覚資料は配送中の破損を防ぐため所蔵館での貸出・返却をお願いします。)

5月9日(日)

『でこちゃん』
『おじさんのかさ』

おはなし会

午後3時～
児童室にて

5月16日(日)

『すてきな三にんぐみ』
『ねずみくんとかくれんぼ』

図書館カレンダー

4月 APR						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

※4/29は祝日ですが開館いたします

【開館時間】
午前10時から
午後6時まで

■は休みです。

5月 MAY						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23/30	24/31	25	26	27	28	29

※5/3～5は祝日ですが開館いたします